



宇久中だより2018

佐世保市立宇久中学校 学校通信
(平成30年7月1号)
文責 校長 田雑 健
平成30年7月6日(金)発行

学校教育目標 : ふるさとを愛し、主体的に学習し、自らの判断で正しく行動できる生徒
めざす生徒像 : 素直で心豊かな生徒・自ら考え、主体的に学ぶ生徒・強くたくましい生徒
宇久中生徒の5励行 : 心のこもったあいさつをする 授業に集中する 生徒会活動や部活動に励む
大きな声で校歌を歌う 清掃活動に力を入れる

7月になりました

早いもので平成30年も半分が過ぎました。学校は4月～翌年3月という「年度」で動くことが多いので、あまり感じることはないかもしれませんが、一つの区切りの時期であることは間違いありません。

6月は、佐世保市全体が「いのちを見つめる強調月間」であり、命の尊さ、命を輝かせて生きることの大切さを考える月でした。

市中体では競技に、演奏に、応援に「輝く瞬間を過ごす」皆さんの姿を見ることができました。皆さん自身も手ごたえあり、悔しさあり、そして、支えてくださる家族のありがたさも身にしみたことでしょう。

市中体終了後も行事が続きました。一つ一つを挙げることはしませんが、それぞれの行事で準備・運営によく頑張ってくれました。いくつかの行事については保護者、地域の方に参加いただきましたが、その方々から、「中学生の頑張りに感心した」といううれしい言葉もいただきました。今年度は関西フィルの公演もありました。演奏する側、聴く側双方が感動する素晴らしい時間を過ごすことができました。

7月、といってもすでに今日は6日です。来週

は修学旅行と野外宿泊活動です。「為すことで学ぶ」有意義な時間になることを大いに期待しています。



夏の交通安全県民運動

来週11日(水)から20日(金)にかけて長崎県内では「夏の交通安全県民運動」が行われます。今回のスローガンは

『ぶつかるよ ながら運転 じこのもと』

です。重点目標は以下の3点です。

- 1 高齢者と子供の交通事故防止
- 2 飲酒運転の根絶
- 3 後部座席を含めた全ての座席のシートベルトとチャイルドシートの正しい着用の徹底



期間中、修学旅行と野外宿泊活動で普段とは異なる場所を移動します。交通ルールとマナーを守り安全に過ごしましょう。

台風がやってきた日

3日(火)は台風7号の接近に伴い市内小中学校などは臨時休校になりました。一日何をして過ごしていましたか。深夜というか早朝のワールドカップを見て、朝寝坊という人はいませんでしたか? 1日は短いもの。計画なしではあっという間に過ぎ去ってしまいます。夏休みがそうならないように気をつけましょう。

7月～9月の重点
様々な体験 —為すことで学ぶ—

○修学旅行・野外宿泊、合同体育大会を通して

関西フィルハーモニー 管弦楽団公演

先週6月28日(木)、文化庁事業として関西フィルハーモニー管弦楽団公演を本校体育館にて開催いたしました。交通事情により、開演時間を繰り上げ、内容も縮減された形となりましたが、生の演奏に加えて、児童生徒・地元音楽家の皆さんとの演奏もあり、素晴らしい公演となりました。50分ほどの短い時間でしたが、「本物の音楽」「生の演奏」にすっかり魅了されました。司会者の方からも「素晴らしい演奏会でした」とのお言葉を頂戴しました。



市少年の主張大会は 7月14日(土)開催です



毎年行われている佐世保市少年の主張大会が7月14日(土)に開催されます。本校からは3年生の瀬尾彩葉さんが『あいさつって何?』という演題で発表します。

【市少年の主張大会】

会場：コミュニティセンター(光月町)
開会：12:00(弁論発表は12:15～)
発表順：20番目(28名発表のうち)
※なお、今年度は当番校ではないため、「社会を明るくする運動弁論大会」には出場いたしません。

身に付けるということ

7月に入りました。今年度は1年間で4つの期に分け、それぞれ重点的に学んでほしいことを生徒に投げかけています。生徒向け記事の中に

7月～9月の重点

様々な体験 —為すことで学ぶ—

○修学旅行・野外宿泊、合同体育大会を通して

ある囲
みがそ
れで
す。

7月から9月の3ヶ月は「様々な体験 —為すことで学ぶ—」を主題としています。

まず、7月は11日(水)～13日(金)の3日間、2・3年生は修学旅行、1年生は野外宿泊活動に出かけます。

校外へ出かけて様々な活動を行う中で、「校内でやっていることを校外でもしっかりやる」ということを大切にしています。宇久中学校には下記の「五励行」があり日々生徒が実践に励んでいるのはご承知のとおりです。

- 1 心のこもったあいさつをする
- 2 授業に集中する
- 3 生徒会活動や部活動に励む
- 4 大きな声で校歌を歌う
- 5 清掃活動に力を入れる



5つの項目について本校生徒は校内でよく頑張っています。けれども、こうした行動が学校外でも迷わずにできなければ真に「身に付いた」とは言えません。社会に出て通用する力として、礼節ある行動が学校内外を問わずとれるよう、この活動時も含めて今

後も育てていきたいと思えます。

ご家庭でも折に触れ、お声かけいただければ幸いです。

次号(7月2号)は20日に発行します。